

(3) 栄養教諭等

ア 基礎形成期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導教員等から助言を受け、教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を確認するなどして、主体的に対応できるように知識・理解を深める</li> <li>・指導教員や研修担当教員等から連携等の方法等について指導・助言を受けながら業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける</li> <li>・授業力、児童生徒理解力、専門的指導力を向上する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校及び教職の意義を理解し、組織の一員として果たすべき役割を十分理解して職務を遂行することができる</li> <li>・食育と学校給食の管理の基本的な知識を的確に活用することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域に対して、食育推進の方針等を説明し、理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域の協力のもと食育を効果的に進めることができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全に関する基礎的な知識を有し、事象発生時には正しい手順で対応することができる</li> <li>・未然防止のための身の回りの安全点検を確実に行うことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
専門領域における指導	栄養管理	・学校給食摂取基準について理解し、地場産物の活用に配慮した献立を作成することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修担当教員等から栄養管理や衛生管理について指導・助言を受けながら業務を遂行する</li> <li>・指導教諭等の授業を参観する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を身に付ける</li> <li>・専門的知見を深める</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理	・学校給食衛生管理基準について理解し、安全で安心な給食を提供することができる		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任や教科担任等と連携し、食育の視点を意識した食に関する指導の実践や資料提供をすることができる</li> <li>・学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導を実践することができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	・偏食、肥満・痩身、食物アレルギー等について理解し、他の教職員や保護者と連携して対応することができる		
	評価・改善	・給食管理や食に関する指導の取組状況から自己の取組を評価し、研修等の機会を通して知識の向上及び指導方法等の改善に取り組むことができる		
生徒指導	<集団づくり> 児童生徒理解に基づ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の言動や心の動きからその児童生徒の置かれている現状を理解することができる</li> <li>・食に関する指導の時間や休憩時間等のあらゆる場面において、児童生徒一人一人と積極的に向き合うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>・学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>・生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導、教育相談に関する基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が自発的・主体的に成長や発達をしていく過程を支える視点を理解している。</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員からの助言・支援を得ながら事象に対応することができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、SC・SSWや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>	
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインや健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別の教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校におけるICT活用の意義を理解し、学校給食の管理や食に関する指導等において、ICTを適切に活用することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用に関する基本的な知識や技術を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初任者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導において、ICTを活用して情報の管理や発信をすることができる</li> </ul>	
	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを適切に活用することの意義と効果を理解し、活用することができる</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について指導教員等の助言を受ける</li> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	

イ 基礎定着期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解し、主体的に対応できるように知識・理解を深める</li> <li>・教職員と連携等の方法等について協議しながら業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、意欲的に研修に取り組み、知識や理解を深める</li> <li>・連携等の具体的な方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に教育課程や組織の運営に参画することができる</li> <li>・学校教育目標を理解し、年間指導計画に基づく食育の推進や学校給食の管理及び運営をすることができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・関係機関等に対して、自校の食育推進の方針等を伝えつつ、それぞれの理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と良好な関係を築き、連携・協働した食育活動を推進することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理の重要性や自身の役割を十分理解し、事象発生時には適切に対応することができる</li> <li>・安心・安全な学校づくりに他の教職員と協働して取り組むことができる</li> </ul>		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の実態を把握し、適切な栄養管理や教育的な配慮のある献立を作成することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行する</li> <li>・他の教員の授業を参観する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら実践的指導力を向上させる</li> <li>・各教科等における食に関する指導の実践力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食衛生管理基準に基づき、調理従事者への衛生管理指導や施設設備の改善に取り組むことができる</li> </ul>		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の視点について理解し、専門的な立場から担任と協働し、食に関する指導を実践することができる</li> <li>・児童生徒の実態を把握し、栄養教諭の専門性を生かし、学級担任等と連携して食に関する指導を実践することができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職としての知識を生かし、学級担任や養護教諭、学校医等と連携しながら児童生徒の発達段階に応じた対応や相談指導を行うことができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食管理や食に関する指導の取組状況から自己の取組を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団 づ く り  児 童 生 徒 理 解 に 基 づ く 集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の日々の観察を基に、行動の変化を細部まで見逃さず捉え、児童生徒の生活背景を踏まえた実態の把握を行うことができる</li> <li>・食に関する指導の全体計画や年間指導計画に基づき、状況に応じて自らの意見を述べ、食に関する指導を行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当教員等と相談したり協議したりする</li> <li>・学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導や教育相談に関する専門的な知見を深め、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	指 導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての児童生徒が自発的・主体的に自ら成長を促すことのできるよう寄り添い指導することができる</li> <li>・深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、他の教職員や関係機関等と連携しながら事象への多様な対応をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	
	教 育 相 談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の状況に応じて、教育相談等の必要性を判断したり、S C・S S Wや関係機関等との円滑な連携を図ったりするために、児童生徒の実態等の現状について、他の教職員に確実に報告・連絡・相談することができる</li> <li>・教育相談に関わる基礎理論を理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談を実践することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒が示すサインや健康課題等の早期発見に努め、児童生徒の行動等の背景にある特性について理解するなど実態把握をすることができる</li> <li>・児童生徒の食物アレルギー等の実態に応じた個別の教育支援計画の作成に参加し、それらに基づいた適切な指導・支援をすることができる</li> <li>・児童生徒への適切な指導・支援を行うために、管理職や他の教職員に相談しながら、校内の支援体制を活用して組織的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と相談しながら、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する知識を深め、具体的な支援の方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、効率的な学校給食の管理と効果的な食に関する指導ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員等と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を向上させ、具体的な指導方法を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した食に関する指導を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の健康課題等の改善のため、データを適切に活用し、指導に役立てることができる</li> </ul>			

ウ 伸長期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解して、主体的に対応する</li> <li>・校務分掌を担う中核教員等と連携し業務を遂行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的、意欲的に研修に取り組み、知識や理解を向上する</li> <li>・連携等の具体的な方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、教育課程や組織の運営に関して他の教職員に助言することができる</li> <li>・食育の推進や学校給食運営に積極的に関わり、学校教育目標の具現に向け、工夫・改善することができる</li> <li>・学年・分掌経営等に取り組むとともに、食育の推進に関して他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働し、自校の食に関する課題を解決するための手法を他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
 伸長期

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行するとともに、必要に応じて指導・助言をする</li> <li>・教員等の授業を参観し、必要に応じて助言する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的知識と実践力を向上させるとともに助言する力を身に付ける</li> <li>・各教科等における食に関する指導に係る実践力を向上する</li> </ul> 〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	衛生管理		
	各教科等における食に関する指導		
	個別的な相談指導		
	評価・改善		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	団づくり 児童生徒理解に基づき集	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人一人の変化を的確に捉え、直ちにその変化の要因を確認し、児童生徒の情報を収集し、それを他の教職員と共有することができる</li> <li>自校の食に関する指導の全体計画に基づき、具体目標と計画の設定及び見直しを行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導、教育相談に関する具体的な指導方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題別研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>深刻な課題を抱える特定の児童生徒に対して、自校の生徒指導の方針に基づき、教職員の連携し組織的に事象に対応することができる</li> <li>児童生徒の良さを引き出しながら、個や集団に応じた指導を進めることができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談等の必要性を判断し、SC・SSWや関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対して専門的な知識を生かし指導・助言することができる</li> <li>教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個別の健康課題に対応するために、専門的な知見を活用し適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応について、専門的な知見を活用しながら総合的に判断し、校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と協議し、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な支援の方法等について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導等において適切かつ効果的にICTを活用し、自己の実践を振り返り改善に取り組むとともに、他の教職員と連携・協働し取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した効果的な指導について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを学習のツールとして活用し、効果的な食に関する指導を実践できるよう工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の児童生徒の健康課題の改善を目指し、データを適切かつ効果的に活用した指導・支援について具体的に提案することができる</li> </ul>			

エ 充実期

		指標	校内研修	校外研修
教職に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、よりよい教育の実現に向けて、研究と修養に励み、教員として常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課題に関わる法的な位置付けや学習指導要領を理解して、主体的に対応する</li> <li>・自校の健康課題を共有し、課題解決に向けて取り組むための体制づくりについて具体的な提案をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質・能力の向上を目指し主体的に研修に取り組む</li> <li>・課題解決に向けた具体的方法について助言する力を身に付ける</li> </ul> 〈研修例〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝える優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒との信頼関係を築いている</li> </ul>		
	マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりについて提案することができる</li> <li>・学校教育目標の実現に向け、教育課程を点検することを通して、学校改善を推進することができる</li> <li>・組織的に学校改善を推進するための具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりについて提案することができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
 充実期

		指標	校内研修	校外研修
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案、改善など具体的な方法を他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
専門領域における指導	栄養管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の献立作成や調理、配食に関し、地域の栄養教諭等の中心的な役割を果たすことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員や地域の栄養教諭等と栄養管理や衛生管理について協議しながら業務を遂行するとともに、必要に応じて指導・助言をする</li> <li>・教員等の授業を参観し、必要に応じて助言する</li> <li>・教職員等と食に関する目標や取組内容を協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養管理や衛生管理について具体的な方法等について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会が主催する研修会</li> </ul>
	衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理に関して、常に新しい知識を習得し、地域の指導的役割を果たすことができる</li> </ul>		
	各教科等における食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の中心的な役割を担い、食育の充実に向け他の教職員に適切に助言することができる</li> <li>・地域の食文化や地場産物等を理解し、学校給食の献立と食に関する指導を関連付けながら、地域の関係者と連携し取り組むことができる</li> </ul>		
	個別的な相談指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別的な相談指導の具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校や地域の食に関する課題への対応から給食管理と食に関する指導について適切に評価し、率先して改善に取り組むことができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
生徒指導	児童生徒理解に基づく集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事象の要因を確認する際の対応及びその情報の取扱いを適切に行い、具体的指導例を伴って、他の教職員とともに対応することができる</li> <li>・ 自校の教育目標の実現に向け、食に関する指導の全体計画を点検することを通して、改善に取り組むことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導担当教員等による研修や指導・助言を受ける</li> <li>・ 学年や分掌等でテーマを決め、相談したり、協議したりする</li> <li>・ 生活指導に関する会議等で意見を述べたりする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒指導や教育相談に関する具体的な指導方法等について、専門的知識に基づき助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアアップ研修講座</li> <li>・ 課題別研修講座</li> <li>・ N I T S 研修講座</li> <li>・ 研究会主催研修会</li> </ul>
	指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深刻な課題を抱える児童生徒への対応について、専門的知識を生かし、他の教職員の指導方法について指導・助言することができる</li> <li>・ 個や集団に応じた指導の在り方について他の教職員に対して的確に助言することができる</li> </ul>		
	教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育相談等の必要性を判断し、S C ・ S S W や関係機関等との効果的な連携・協力を推進するとともに、他の教職員に対して専門的知識を生かし指導・助言することができる</li> <li>・ 教育相談に関わる基礎理論を深く理解し、様々な資質や能力の積極的な獲得を支援する教育相談の組織的な取組を推進することができる</li> </ul>		

栄養教諭等  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個別の健康課題に対応するために、専門的な知見を活用し適切な指導・支援について他の教職員に指導・助言することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応について、専門的な知見を活用しながら総合的に判断し、校内の体制整備等の具体的な方策を提案することができる</li> <li>・福祉・医療等の関係機関や専門家等と連携しながら、組織的・継続的に対応することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーター等と協議し、個別の教育支援計画等の作成に参画し、SC等から助言を受け、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する具体的な指導方法等について助言をする力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	学校給食管理や食に関する指導への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の管理や食に関する指導等においてICTを多様な視点で活用し、学校内外の中核となって取り組むとともに、効果的な活用について他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル技術の活用や、情報活用能力の育成に係る実践について教職員と協議する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した効果的な指導について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	ICT活用指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICTを学習のツールとして使いこなし、食に関する指導を進められるように、児童生徒の発達段階に応じて指導を工夫することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用指導力を高めるため、教職員等で相談したり、協議したりする</li> </ul>	<p>〈研修例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの利活用に係る校内外の組織の整備を図るとともに、改善や効果的な活用に向け、評価・改善を行うことができる</li> </ul>			

(4) 市町村立小中学校事務職員

ア 基礎形成期（目安：経験3年目以下の主事）

指標		校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を伝える</li> <li>・職員会議や職員研修等の内容を理解し、管理職や教職員から自分の役割について助言を受けながら校務に参画する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域との連携や学校安全に関する基礎・基本を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標を理解し、児童生徒一人一人を大切にした学校づくりに取り組むことができる</li> <li>・学校組織マネジメントの仕組みを理解し、行政職員として果たすべき役割を意識して職務を遂行することができる</li> </ul>	
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間及び地域や関係機関等との連携の実態を把握することができる</li> <li>・地域との連携活動に積極的に関わって地域の人材・資源を知るとともに、地域コーディネーターの役割や仕事内容を理解することができる</li> </ul>	

学校事務職員  
基礎形成期

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
	活動 児童生徒理解・教育		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修及び、グループワーキングや共同学校事務室、研究会活動等で得た知識をもとに主体的に業務に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務やその在り方を理解し、学校事務に関する専門的知識と実践力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践		
	評価・改善		
	グループワーキング・共同学校事務室		

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をすることができる</li> <li>・課題を抱える児童生徒やその保護者に対して、担当分掌業務を通して情報提供や環境整備等の支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会議や職員研修等で児童生徒の実態を把握し、支援のための知識・理解を深める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・初期研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用についての知識・技能を身に付け、学校事務の遂行において、ICTを適切に活用することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務において積極的にICTを活用する</li> <li>・職員会議や職員研修等に参加して校内の教育データ活用の実態を把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用の基礎・基本を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用者研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育データの活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育データを適切に活用することの意義と効果を理解するとともに、自校の活用実態を把握することができる</li> </ul>		

イ 基礎定着期（目安：経験4年目以上の主事・主任主事）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して自分の意見を適切に伝える</li> <li>・教育課程や自校の教育課題について理解を深め、組織の一員として、会議等で課題解決の方法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や学校安全に関する具体的な進め方や適切な対応方法を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の社会的役割を理解し、他の教職員と協働し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に学校運営に参画することができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
	連携・協働		
	危機管理		
	活動 児童生徒理解・教育		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外研修で学んだ知識を生かして、校内で行う業務の効率化や改善等を行う</li> <li>・児童生徒の教育活動を参観して、自分の業務と結びつけて支援方法を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事務職員としての専門性と実践力を高める</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・ちょっと学びタイム研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践		

学校事務職員  
 基礎定着期

指標		校内研修	校外研修
評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の業務の進捗状況や完成度から進め方や手順を評価し、課題を明確にした上で、改善に取り組むことができる</li> <li>他の教職員と協働する業務について協議し改善に生かすことができる</li> </ul>		
グループワーク グ・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の役割を理解し、他の事務職員と協働して取り組むことができる</li> </ul>		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の行動等の背景にある特性について理解し、その特性に応じた配慮や支援をすることができる</li> <li>課題を抱える児童生徒やその保護者に対して、担当分掌業務を通して情報提供や環境整備等の支援をすることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級担当や生徒指導担当教員等から、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応方法を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育等に関する専門的な知識・理解を深め、適切な支援方法について理解する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題別研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>

		指標	校内研修	校外研修
ICTや情報・教育データの利活用	校務への活用	・学校事務の効率化を図るために、ICTを活用した効果的な業務改善に取り組むことができる	・ICTを効果的に活用した業務実践を提案する ・自校の学習指導と生徒指導等の改善のための、教育データ活用の課題を理解する	・ICT活用力を向上させるとともに、他校の効果的な教育データ活用情報を入手する  <研修例> ・教科等専門研修講座 ・ちょっと学びタイム研修講座 ・NITS研修講座
	教育データの利活用支援	・学習指導と生徒指導等の改善のための、自校の教育データ活用を支援することができる		

ウ 伸長期（目安：主査）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している ・教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている ・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている	・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝える ・自校の教育課題を分析・重点化し、研修・研究等の機会を通して対応方法を検討する	・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む ・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について具体的に助言する力を身に付ける  <研修例> ・中堅教諭等資質向上研修講座 ・キャリアアップ研修講座 ・教科等専門研修講座 ・課題別研修講座 ・NITS研修講座 ・研究会主催研修会

学校事務職員  
基礎定着期  
伸長期  
学校事務職員

指標		校内研修	校外研修
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価や監査結果等から自校の取組の成果と課題を検証し、学校組織をつなぐ中核として、業務の見直しや課題解決に向けて、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会・学校評議員会等に参画し、自校の活動を伝えつつ理解と協力を得ることができる</li> <li>・家庭や地域・関係機関等と連携・協働した活動を計画・推進するとともに、自校の課題を解決するための手法について他の教職員に助言することができる</li> </ul>		
危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検の集約やマニュアル整備など、教職員の中心となって危機の未然防止に取り組むことができる</li> <li>・自校の危機管理の具体的な方法について、他の教職員に助言することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
	児童生徒理解・教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種校内対策委員会等に参画して自校の教育課題に対する解決策を検討するとともに、教職員とともに課題解決に取り組むことができる</li> <li>自校の授業研究等に参画して児童生徒の活動実態を把握し、支援体制・環境整備について提案することができる</li> </ul>		
専門領域における業務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>自校の教育目標の達成に向けて、目標と実践と評価が一体化した事務部経営計画を立案できる</li> <li>職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務の業務改善を提案できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事務の業務改善を検討し職員会議等で提案するとともに、教職員の業務に関して助言を行う</li> <li>校内での研修・研究に積極的に参加して、自分の業務を通してできる教育目標達成に向けた支援等について提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践力を養うとともに、積極的に他校の効果的な取組実践を入手する</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>キャリアアップ研修講座</li> <li>教科等専門研修講座</li> <li>N I T S 研修講座</li> <li>県教委主催研修会</li> <li>研究会主催研修会</li> </ul>
	業務実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務部主任としてマネジメントの手法を取り入れて事務部経営を遂行することができる</li> <li>職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、他の教職員が担当する学校事務に関して助言することができる</li> <li>自校の研究活動に参画し、学校事務と結び付けて研究推進に取り組むことができる</li> </ul>		
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成度から適切に学校事務を評価し、課題に対する解決方法を明確にして改善に取り組むことができる</li> <li>他の教職員が担当する学校事務に対して、具体的な改善案を示しつつ、助言することができる</li> </ul>		
	グループワーキング・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら役割を担いそれを的確に果たすとともに、積極的に他の事務職員を支援することができる</li> </ul>		

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育を理解し、適切な支援方法についての情報等を収集して自校の活動を支援することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、行政職員の視点から提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の特性に応じた適切な支援を行うための環境整備について助言・提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関する適切な支援を行うための環境整備について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中堅教諭等資質向上研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が校内情報を共有するための環境を整備し、利活用を促進することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用における環境整備について、改善策を提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを校務に活用したり教育データを効果的に活用したりするうえで必要な環境整備について助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員が教育データを適切かつ効果的に活用するための環境を整備し、活用を促進することができる</li> </ul>		

エ 充実期（目安：主任主査）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りをもち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒や教職員とのコミュニケーションを大切にするとともに、校内での研修・研究に関して他者の意見を受け止め、自分の意見を適切に伝え、改善策等を提案する</li> <li>・自校の教育課題を共有し、課題解決に向けて教職員が組織的に対応できる体制づくりについて提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資質・能力の向上を目指して、主体的・意欲的に研修に取り組む</li> <li>・家庭や地域・関係機関等との連携や危機管理に関する具体的な進め方や適切な対応方法について学校経営の視点から具体的に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	企画運営調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標の達成に向けて、学校組織マネジメントの手法を取り入れながら学校経営計画を推進するとともに、学校評価結果を反映させた学校改善を推進することができる</li> <li>・自校の特性を見極め、状況に応じて教職員が能力を発揮できる体制づくりを提案することができる</li> </ul>		

学校事務職員  
充実期

		指標	校内研修	校外研修
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題解決に向け、学校内外における様々な人々と広く連携・協働を図るための組織づくりを行うとともに、学校を取り巻く資源を効果的に活用することができる</li> <li>・自校の課題解決に向け、家庭や地域・関係機関等との連携・協働を推進するための具体的な方法について、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の危機管理体制を常に点検することができる</li> <li>・危機管理に関する課題解決に向けた提案・改善等、具体的な方法について他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	児童生徒理解・教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の取り組むべき教育課題を明らかにし、目標達成のための効果的な手段を提案するなどして、組織的な取組を推進することができる</li> <li>・自校のカリキュラム・マネジメントの推進に率先して取り組むことができる</li> </ul>		
務遂行	業務設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の教育目標達成の観点から、他の分掌と融合できる事務部経営計画を立案し、学校経営計画の構想等に対して助言することができる</li> <li>・俯瞰的視野に立って学校業務の改善を提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門領域における具体的な業務遂行方法等について、他の教職員に指導・助言する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門領域における具体的な業務遂行方法等について、他の教職員に指導・助言する力を身に付ける</li> </ul>

	<p style="text-align: center;">業務実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職務に対する高度な知識と経験を踏まえて、学校事務に関する諸規定を整備するとともに、他の教職員が担当する学校事務に関して指導・助言することができる</li> <li>・今日的な教育の動向を把握し、学校事務と結び付けて必要となる専門性を追求するための研究に取り組むことができる</li> </ul>	<p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・県教委主催研修会</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
--	---	---	--

		指標	校内研修	校外研修
	評価・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自校の課題への対応や事務部経営目標の達成の視点から学校事務を適切に評価し、率先して改善に取り組むことができる</li> <li>・学校事務における業務改善をリードしつつ、他の教職員に指導・助言することができる</li> </ul>		
	グループワーク グ・共同学校事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務リーダーを補佐し、業務改善・効率化及びOJTによる人材育成を推進することができる</li> </ul>		
	生徒への対応 特別な配慮や支援を必要とする児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体に係る特別支援教育を理解し、適切な支援方法についての情報等を収集して自校の活動を支援することができる</li> <li>・特別な配慮や支援への対応に関する校内の体制整備等の具体的な方策を、行政職員の視点から提案することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育に関して学校経営の視点から校内の体制整備等の具体的な方策を検討し助言・提案を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育等に関して学校経営の視点から助言する力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・NITS研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
用	ICTや情報・教育データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した学校事務の強化に取り組むとともに、ホームページ等による学校情報の発信を推進することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報の発信について教職員と検討する</li> <li>・各教員の授業や各分掌の取組状況を把握し、学校経営の視点から教育データの利活用を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NITS研修講座</li> </ul>
	教育データの利活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、教育データの利活用に関する評価・改善について支援することができる</li> </ul>		

オ 充実期（事務リーダー）

		指標	校内研修	校外研修
学校事務職員に必要な素養	主体的に学び続ける姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化を前向きに受け止め、児童生徒の育ちを支援するために、教職員として長期的視野に立った自己研鑽を積み、常に学び続ける向上心を有している</li> <li>・教職員としての仕事に対する使命感や誇りを持ち、責任感をもって職務に当たっている</li> <li>・法令や服務規準の遵守を徹底し、高い倫理観を有するとともに、優れた自己管理能力を備えている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校事務職員組織内の事務職員をリードし、資質向上のために指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <p>&lt;研修例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアアップ研修講座</li> <li>・教科等専門研修講座</li> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
	コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな人間性や人権感覚を有し、多様な児童生徒を受容するとともに、良好な人間関係を構築する力を備えている</li> <li>・状況や目的に応じて、相手の思いを正しく受け止め、自分の思いを適切に伝え、職場内外で協調性・調整力を発揮する優れたコミュニケーション能力を備えている</li> <li>・愛情をもって児童生徒に接し、信頼関係を築いている</li> </ul>		
	企画運営調整・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織の目指す目標を定めて意識の共有を図り、その達成に向けて組織内の事務職員を支援しリードすることができる</li> </ul>		
	連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織における業務の円滑な遂行のために、校長会・教頭会及び教育委員会や関係機関等と連携を図ることができる</li> </ul>		

指標		校内研修	校外研修
	危機管理		
	児童生徒理解・教育活動		
専門領域における業務遂行	業務設計		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事務職員組織内の事務職員が、各校において専門領域における業務を円滑に遂行できるよう支援する力を身に付ける</li> </ul>
	業務実践		
	評価・改善		
	グループワーク 共同学校事務室		

- <研修例>
- ・キャリアアップ研修講座
  - ・教科等専門研修講座
  - ・N I T S 研修講座
  - ・県教委主催研修会
  - ・研究会主催研修会

		指標	校内研修	校外研修
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織内の学校の特別な配慮や支援対応に関する課題解決に向けて、情報提供等の支援をすることができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な配慮や支援対応に関する課題解決のための力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題別研修講座</li> <li>・N I T S 研修講座</li> <li>・研究会主催研修会</li> </ul>
ICTや情報・教育データの活用	校務への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務職員組織内の学校のICT活用による学校事務の強化をリードするとともに、教育委員会との連携により教育データ活用の環境整備を促進することができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なICT活用方法や教育データ活用のための環境整備について指導・助言する力を身に付ける</li> </ul> <研修例> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N I T S 研修講座</li> </ul>
	教育データの活用支援			